

令和 6年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 高齢者福祉課
 担当名: 施設整備担当
 内線: 3268

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
S37	特別養護老人ホーム等整備事業費		一般会計	民生費	社会福祉費	老人福祉施設費	老人福祉施設整備助成費	
事業期間	昭和39年度～	根拠法令	老人福祉法第15条、第24条		針路	03 介護・医療体制の充実	SDGsゴール	9
					分野施策	0301 地域で高齢者が安心して暮らせる社会づくり	SDGsターゲット	9-1
1 事業概要 社会福祉法人等へ施設整備費を助成することにより、特別養護老人ホームの整備を進めるとともに、老朽化した特別養護老人ホーム、養護老人ホーム及び軽費老人ホームの居室環境等の改善を図り、要介護高齢者の福祉の向上を図る。 ウ 老朽化施設の居室環境等の改善 △304,507千円			5 事業説明 (1) 事業内容 ア ユニット型施設の整備 施設整備費・設備整備費への補助 (5施設、426人分) 1,023,048千円 イ 混合型施設、従来型施設の整備 施設整備費・設備整備費への補助 (3施設、312人分) 607,440千円 ウ 老朽化施設の居住環境等の改善 改築整備費・大規模修繕費への補助(13施設、1003人分) 1,183,770千円 (2) 事業計画 ア 創設整備 新たに施設を整備 (6施設、612人分) 【補助単価 改正前:3,000千円/人 改正後:3,270千円/人】 イ 増床整備 増築を行い定員を増加する整備 (2施設、126人分) 【補助単価 改正前:2,160千円/人 改正後:2,360千円/人】 ウ 改築整備 既存施設を取り壊して新たに施設を整備 (1施設、50人分) 【補助単価 改正前:3,000千円/人 改正後:3,270千円/人】 エ 大規模修繕 既存施設の改修・改造工事 (12施設、953人分) 【補助単価 改正前:1,000千円/人 改正後:1,090千円/人】 ※アイウについては、原則として、初年度目に20%、2年度目に80%の割合で補助を行う。 (3) 事業効果 令和6年度補助事業により、広域型特別養護老人ホーム626人分の定員増が図られる。 【参考】 広域型(県補助整備) 広域型(県所管自費整備) その他 合計 累計 令和元年度 250人分 27人分 390人分 667人分 37,021人 令和2年度 274人分 42人分 622人分 938人分 37,959人 令和3年度 280人分 12人分 47人分 339人分 38,298人 令和4年度 612人分 10人分 185人分 807人分 39,105人 令和5年度 788人分 24人分 44人分 856人分 39,961人 ※その他は、広域型(政令市・中核市整備分)及び地域密着型。 (4) 補正予算の概要 補助対象経費が当初の見込みを下回ったこと等による減額					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)事業者0								
3 地方財政措置の状況 普通交付税(補正係数) (区分)高齢者保健福祉費 施設整備事業(一般財源化分)の70%								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×3.5人=33,250千円								
予算額			財源内訳				一般財源	補正後の 予算額
			県債					
決定額	△304,507	△305,000					493	2,509,751
現計額	2,814,258	2,814,000					258	

事業内訳書

事業名	特別養護老人ホーム等整備事業費		
単位事業名	老朽化施設の居室環境等の改善	予算額	△ 304,507千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
県債・民生債	△305,000	—	老人福祉施設整備事業債
一般財源	493	—	
合計	△304,507	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	△304,507	—	補助対象経費が当初の見込みを下回ったことによる減額
合計	△304,507	—	